

第2章 保健・福祉

6. 健康づくり

7. 地域医療

8. 高齢者福祉

9. 障がい者(児)福祉

10. 地域福祉

11. 保険・福祉医療

基本施策6 健康づくり

担当 保健センター

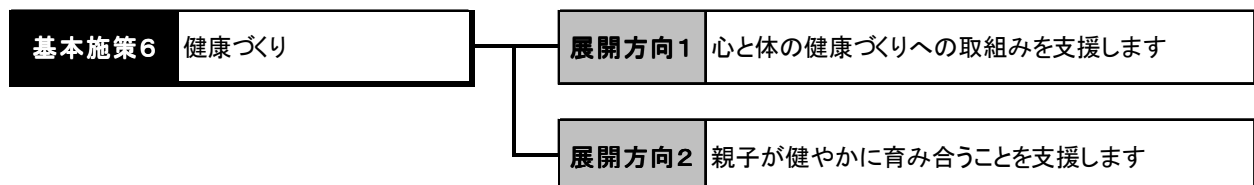
◆基本施策の目的

生涯にわたって元気でいきいきと暮らすことができるよう、市民が積極的に健康づくりに取り組み、社会全体で支援する環境づくりを行います。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
健康寿命 (上段:男性、下段:女性)	歳	79.05 83.33 (H22年度)					↗
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	74.3					↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H26～H28 事業費(千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
14	小牧市独自人間ドック事業 【保健センター】	450,000	拡充実施	⇒	⇒
15	成人保健健康診査事業 【保健センター】	318,000	拡充実施	⇒	⇒
16	水ぼうそうワクチン予防接種 費用助成事業 【保健センター】	27,500	実施	⇒	⇒
17	おたふくかぜワクチン予防接 種費用助成事業 【保健センター】	24,500	実施	⇒	⇒
18	高齢者肺炎球菌ワクチン予 防接種費用助成事業 【保健センター】	56,000	拡充実施	⇒	⇒
19	母子保健健康診査事業 【保健センター】	480,000	実施	⇒	⇒

番号	事業名	H26～H28 事業費(千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
20	「健康日本21こまき計画」 次期健康計画事業 【保健センター】	3,300	計画策定		
21	健康いきいきポイント制度調 査研究事業 【保健センター】	2,300	実施		
22	風しんワクチン予防接種費 用助成事業 【保健センター】	3,000	実施		

拡充

小牧市独自人間ドック事業

健康福祉部 保健センター

1 予算額 150,045千円

2 目的 特定健診、がん検診の受診率向上に向けて新しい健診のしくみを構築して、がん、生活習慣病の早期発見、早期治療と健康意識の向上を図ります。



3 効果 健康寿命を延伸させること、健康保持を図ることができます。
また、がん、生活習慣病の早期発見、早期治療により医療費の削減につながります。

4 事業概要

- ・対象者 国保被保険者、協会けんぽ被扶養者、後期高齢被保険者
合計 7,690人
- ・健診内容 現在、保険者が実施している特定健診に血液の検査 11 項目・尿検査 1 項目と胃がん、大腸がん、胸部X線撮影を加え人間ドックとして実施します。
- ※協会けんぽに加入している被扶養者に対して、受診しやすい環境づくりを協会けんぽと連携して行います。

人間ドック対象年齢と受診料

	国保被保険者		協会けんぽ被扶養者		後期高齢者
	40～69 歳	70～74 歳	40～69 歳	70～74 歳	75 歳以上
自己負担額	4,900 円	1,900 円	7,200 円	4,200 円	1,900 円

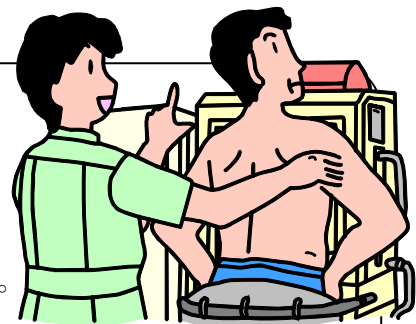
拡充

成人保健健康診査事業

健康福祉部 保健センター

- 1 予算額 104,447千円
- 2 目的 がん、生活習慣病の早期発見、早期治療と健康意識の向上を図ります。
- 3 効果 健康寿命を延伸させること、健康保持を図ることができます。また、がん、生活習慣病の早期発見、早期治療により医療費の削減につながります。
- 4 事業概要

- ・対象者 25,893人
平成26年度の変更点
- ・若い世代での胃がん、大腸がんの罹患率が高くなっているため、対象を40歳以上から30歳以上に拡充します。
- ・受診しやすい料金にします。
- ・今後超高齢化社会に突入しても健康診査事業を継続的に実施していくために、70歳以上の方にも一律500円の自己負担をお願いします。



がん検診の対象年齢と受診料

	子宮がん	乳がん		胃がん	大腸がん	肺がん	胸部X線	前立腺がん
		マンモグラフィ	超音波					
対象年齢	20歳以上	40歳以上	30～39歳	30歳以上	30歳以上	50歳以上	集団 65歳以上 個別 40歳以上	50歳以上
集団	(頸部) 1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	500円	500円	無料	—
個別	(頸部) 1,000円 (頸部+ 体部) 2,000円	—	—	3,000円	500円	—	1,000円	1,000円

※満70歳以上の方は、一律500円を受診料として徴収。

なお、市民税非課税世帯の方等は申請により受診料が免除になります。

拡充

予防接種費用助成事業

健康福祉部 保健センター

- 1 予算額 43,957千円
- 2 目的 任意予防接種の予防接種費用を助成することにより、疾病の発生を予防し、まん延を防ぎます。
- 3 効果 助成することにより、接種を受けやすい環境が整い、重篤化する疾病を予防することができます。

4 事業概要

○ワクチン予防接種対象

風しん、高齢者肺炎球菌

平成26年度の変更点

高齢者肺炎球菌の対象を75歳以上から70歳以上に拡充します。



	対象者	助成額	接種回数
風しん	・妊娠している方のパートナー ・妊娠を予定又は希望している女性 及びそのパートナー のうち抗体検査を受け、抗体が十分でないことを確認できた者	全額	1回
高齢者肺炎球菌	70歳以上	5,000円	

市内実施医療機関へ直接予約していただき、健康保険証を持参の上、接種を受けます。

※市外の医療機関での接種を希望する場合は、一旦全額支払った後、申請により償還払いします。



新規

健康いきいきポイント制度調査研究事業

健康福祉部 保健センター

- 1 予算額 2,300千円
- 2 目的 市民が明るく楽しい生活を送るために、健康は不可欠であることから、健康保持・増進をする健康づくりを習慣化するための健康ポイントのあり方について調査研究します。
- 3 効果 市民が参加しやすく、利用しやすい、健康づくりを習慣化し継続する健康いきいきポイント制度を考えることができます。

4 事業概要

○健康ポイントのあり方について、調査研究を委託します。

- ・市健康施策と市民の健康づくりの取組みを整理
- ・先進地における健康ポイント制度の取組みを整理
- ・健康ポイント制度に関する検討会議の開催
- ・報告書の作成

※健康ポイント制度

健康に関する取組みに対してポイント化することで、ポイント数に応じてサービスを受けることをいいます。



基本施策7 地域医療

担当 地域福祉課・保健センター・市民病院

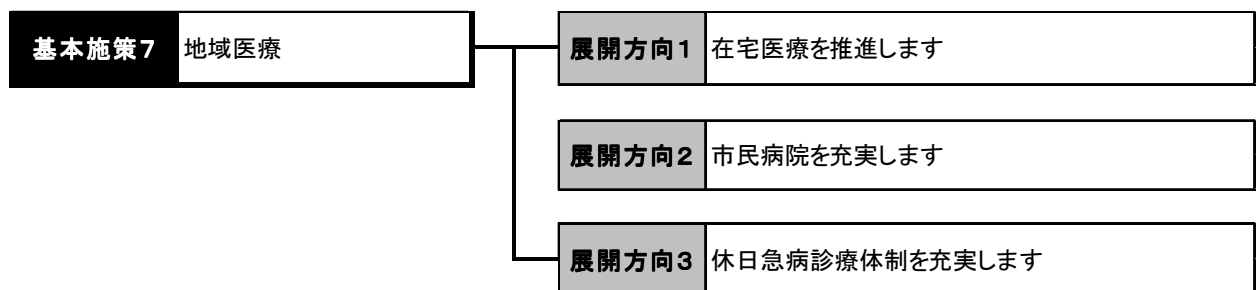
◆基本施策の目的

地域の医療機関が機能に応じて役割を分担し、市民のだれもが個々の状況に応じた適切な医療を受けられるよう、地域医療の充実を図ります。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
市内の医療体制に満足している市民の割合	%	70.7					↗
市民病院の地域連携登録医療機関の数	箇所	484					↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H26～H28 事業費(千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
23	在宅医療推進事業 【地域福祉課】	4,200	実施		
24	小牧市病院事業会計繰出金 【市民病院】	4,000,000	実施	⇒	⇒
25	市民病院建設基金積立事業 【市民病院】	1,300,000	実施	⇒	

基本施策8 高齢者福祉

担当 地域福祉課・介護保険課

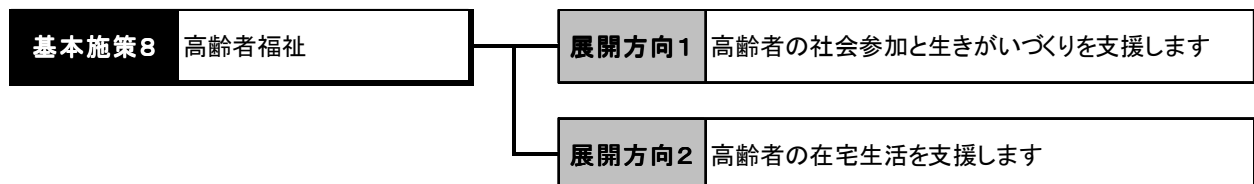
◆基本施策の目的

高齢になっても、心身の健康を維持し、生きがいを持てるようにするとともに、介護や支援が必要となっても、住み慣れた地域の中で安心して暮らし続けることができる環境・仕組みを整えます。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す 方向性
介護や支援を必要としていない高齢者の割合	%	88.8					↗
生きがいをもって生活している高齢者の割合	%	81.8					↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H26～H28 事業費(千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
26	食の自立支援事業 【地域福祉課】	59,000	実施	⇒	⇒
27	高齢者福祉施設整備補助事業 【介護保険課】	120,000		実施	⇒
28	地域密着型サービス施設整備補助事業 【介護保険課】	497,000	実施	⇒	⇒
29	地域密着型サービス施設開設補助事業 【介護保険課】	84,000	実施	⇒	⇒
30	高齢者保健福祉計画策定事業 【介護保険課】	4,000	計画策定		

地域密着型サービス施設整備・開設補助事業

健康福祉部 長寿介護課
(H26.4.1～ 健康福祉部 介護保険課)

1 予算額 265,200千円

2 目的 第5次小牧市高齢者保健福祉計画(平成24年度～平成26年度)に基づき、介護が必要となった高齢者が、住み慣れた地域で生活が続けられるよう、身近な場所でサービスが提供できる地域密着型サービスの施設整備を進めます。

3 効果 身近な場所にサービス提供拠点が
できることにより、地域で高齢者を支え
る体制が整備され、介護が必要となっ
た高齢者が住み慣れた地域での生活
を続けることができます。



4 事業概要 地域密着型サービスの施設整備費
及び開設準備に必要な経費を事業者に補助します。

認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	1箇所	施設整備補助 開設準備経費補助
小規模多機能型居宅介護 (通所介護を中心に訪問介護や短期入所を 組み合わせたサービスを提供する施設)	2箇所	
地域密着型介護老人福祉施設 (小規模な特別養護老人ホーム)	1箇所	
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1箇所	
認知症対応型通所介護(デイサービス)	1箇所	施設整備補助

基本施策9 障がい者(児)福祉

担当 地域福祉課

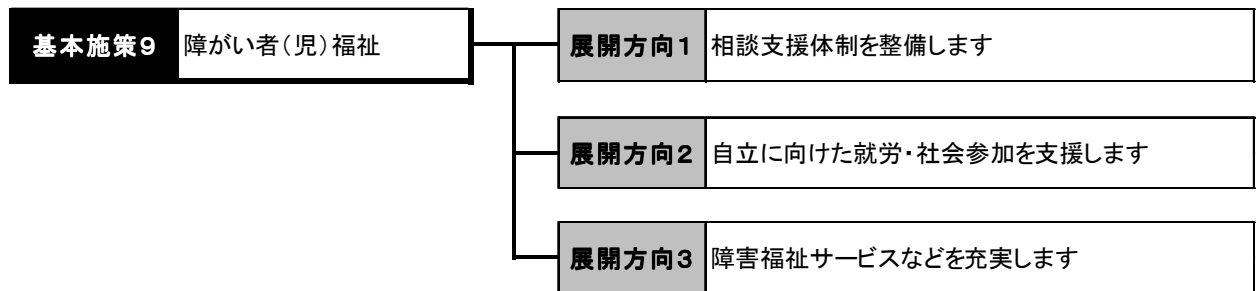
◆基本施策の目的

障がいのある市民が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、自立した日常生活または社会生活を営み、安心して暮らすことができる環境をつくります。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
平成24年度以降に施設入所から地域へ生活の場を移した市民の数(累計)	人	0					↗
グループホーム利用者数	人	31					↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H26～H28 事業費(千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
31	障害者計画等推進事業 【地域福祉課】	4,500	計画策定		

基本施策10 地域福祉

担当 福祉総務課

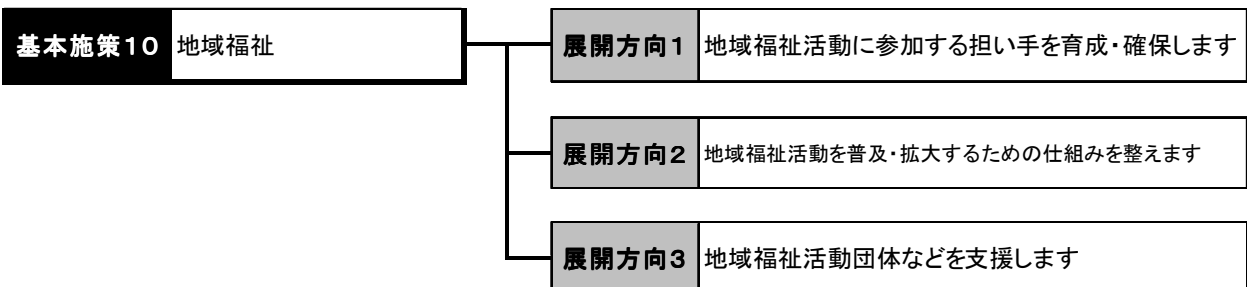
◆基本施策の目的

地域住民みんなが支え合って共に生きるという共通認識を持ち、地域で安心して暮らすことができる環境・仕組みを整えます。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
地域福祉活動に参加している市民の割合	%	15.9					↗
地域で支え合って安心して暮らしている市民の割合	%	61.1					↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H26～H28 事業費(千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
32	地域福祉計画・地域福祉活動計画推進事業 【福祉総務課】	7,928	実施	計画策定	⇒

基本施策11 保険・福祉医療

担当 介護保険課・保険年金課

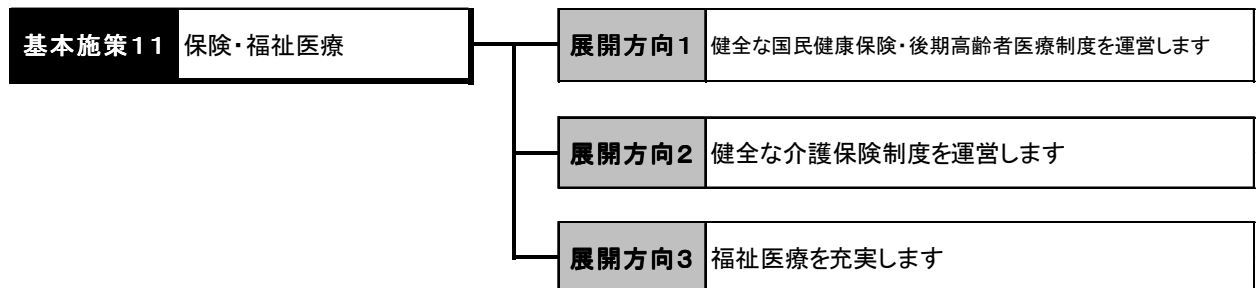
◆基本施策の目的

だれもが必要な医療・介護を安心して受けられるよう保険制度の健全かつ安定的な運営と福祉医療の充実を図ります。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
国民健康保険税収納率(現年)	%	89.6					↗
国民健康保険の被保険者1人あたりの保険給付費	円	227,114					↘
介護保険料収納率(現年)	%	98.8					↗
介護保険の第1号被保険者1人あたりの保険給付費	円	174,483					↘

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H26～H28 事業費(千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
33	小牧市介護保険事業特別会計繰出金 【介護保険課】	3,050,000	実施	⇒	⇒
34	小牧市国民健康保険事業特別会計繰出金 【保険年金課】	4,700,000	実施	⇒	⇒
35	小牧市後期高齢者医療特別会計繰出金 【保険年金課】	3,450,000	実施	⇒	⇒
36	子ども医療扶助事業 【保険年金課】	2,550,000	実施	⇒	⇒
37	精神障害者医療扶助事業 【保険年金課】	100,000	拡充実施	⇒	⇒

拡充

精神障害者医療扶助事業

健康福祉部 保険年金課

- 1 予算額 24,112千円
- 2 目的 精神障害者に対して、医療費を支給することにより、保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図ります。
- 3 事業概要 障害等級が1級又は2級の精神障害者保健福祉手帳所持者の精神障害者医療費の支給について、すべての医療保険自己負担額の支給に拡充します。
(平成26年10月診療分より拡充)

・対象者

精神障害者保健福祉手帳1級又は2級所持者。

・医療費の支給

病院又は診療所で通院して行われる医療(全疾患)に係る医療保険自己負担額を支給します。

・受診見込件数 4,000件

○精神障害者医療扶助対象と支給額

精神障害者 保健福祉手帳 1級又は2級	区分	支給額	
		～平成26年9月診療分	平成26年10月診療分～
所持者	通院 (精神)	自立支援適用後の 医療保険自己負担額	医療保険自己負担額
	通院 (一般)	支給なし	
	入院 (全疾病)	医療保険自己負担額	
所持者以外	通院 (精神)	自立支援適用後の医療保険自己負担額	
	入院 (精神)	医療保険自己負担額の2分の1	

